

詩集

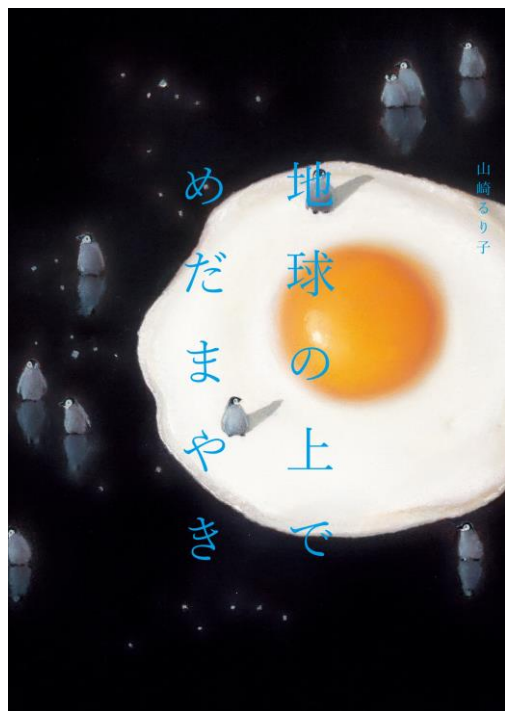
暮らしを詠んだ
30編が心に染みる

『地球の上でめだまやき』

山崎るりこ/著

装画：牧野千穂

日常は、尊い



山崎るり子さんの詩は、日常をていねいに味わう方法を教えてくれる。暮らしは社会と同じ地平にあるから、その視線は家から飛び出して広い世界にも向かう。たとえば朝食の目玉焼きをつくる時、たしかに家の台所に立っているのだけれど、足元のキッチンカーペットの下、ずっとずっと奥深くに地球のマントルがあることを想像したとたん、個々の小さな暮らしが地球の未来につながっていることに気づくのだ。

【山崎るり子】

1949年長野県生まれ。横浜美術短期大学卒。結婚後、愛知県在住。3人の子育てが一息ついた45歳ころから詩を書き始める。初めての詩集『おばあさん』が第2回駿河梅花文学賞を受賞した。ほかに詩集『だいどころ』で第18回現代詩花椿賞、『風ぼうぼうぼう』で第45回晚翠賞を受賞。近年は絵本の仕事も始めている。（福音館書店 月刊誌こどものとも『おばけえんはすぐそこです』絵／石黒亜矢子）

装画は、第50回産経児童出版文化賞ニッポン放送賞や、第40回講談社出版文化賞さしえ賞受賞の牧野千穂さん。贅沢な一枚絵のカバーが魅力です。

本体価格1800円＋税 A5判 ハードカバー／112頁 ISBN 978-4-907474-09-6 C0092

ご注文はJRCへ FAX; 03-3294-2177

電話：03-5283-2230 JRC経由で全ての取次への出荷可。返品可。

貴店名

部数

地球の上でめだまやき

ISBN ISBN 978-4-907474-09-6

1800円＋税

発行；小さい書房

電話&FAX 03-5761-4633 chiisaishobo.com

冊